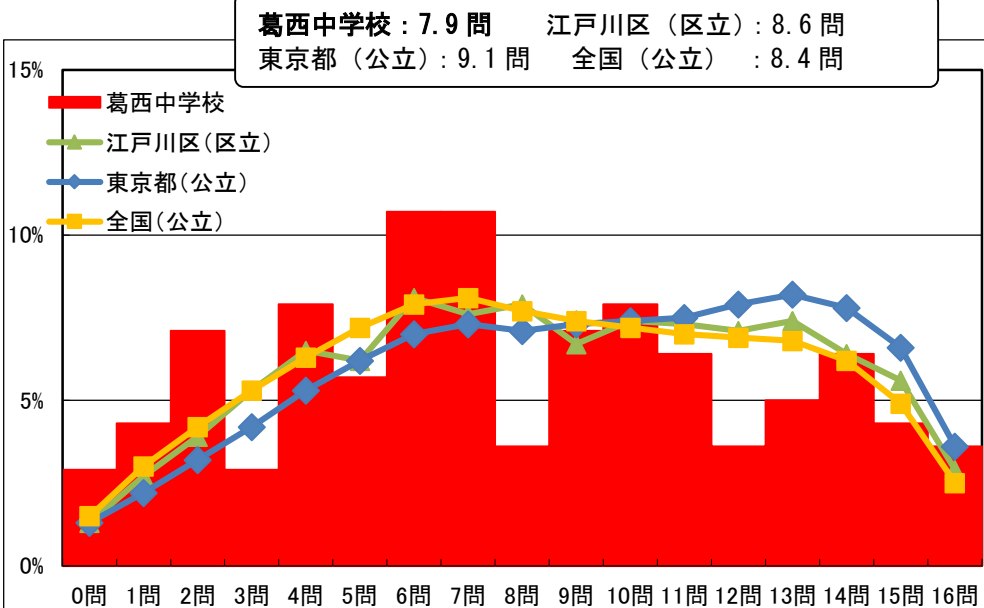


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】江戸川区立葛西中学校

## 正答数分布

平均正答数

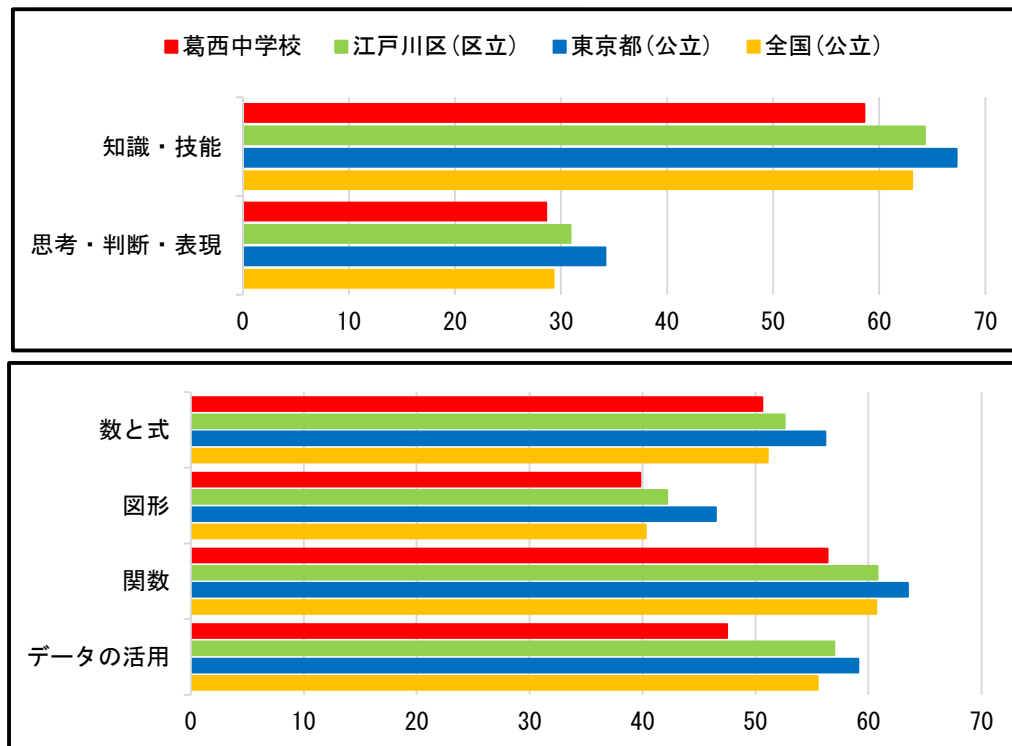


### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
葛西中学校	19.3	25.0	25.0	30.8
江戸川区 (区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都 (公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国 (公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

葛西中学校	49%
江戸川区 (区立)	54%
東京都 (公立)	57%
全国 (公立)	52.5%
都との差	-8ポイント

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

学習指導要領の4領域(「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」)の平均正答率において、「図形」、「関数」の領域で全国平均を下回っている。特に「知識・技能」の評価の観点の問題の平均正答率が大幅に下回っている。

「データの活用」の領域では、「複数のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する」で、正答率が高くなっているなど、記述式の問題では正答率が全国平均に近い問題もあるものの、無解答率が高い記述式の問題が多いということも課題として挙げることができる。

どの分野にも共通した課題となっているのは、基本的な知識の習熟が不十分であると結果から分析できる。まずは、基本的な内容の習熟を授業で図ることができるようにしていく。習熟度別少人数授業の特性を活かし、わかったつもりになるのではなく、学び合い活動などを取り入れた授業展開から内容をしっかりと定着できるようにしていく。